

大人になって感じる町の良いところ 町にこれから期待するところ

手厚い子育て支援

吾妻 私は今、県外に住んでいるのですが、安心して帰ってこられる空気感があるところがいいなと感じています。良い意味で、ずっと変わらないでいてほしいところだなと思っています。

緑上 桑折町は給食費が無償だったり、制服が支給されたり、子育て世代にとっても住みやすい場所だと思います。町外の人にもっと認知され、移住者が増えればいいなと思います。

町長 やはり町の主役は、次代を担う子どもたちです。いかなる環境にあろうとも、同じ機会をしっかりと得て巣立っていけるように、今後も行政としてやらなくてはならないことはしっかりと行っていきます。

佐藤(倫) ここ数年、地元食材を使ったバーガーサミットなどのイベントや飲食店が増えているように思います。食に力を入れることで、町外の人に町の魅力をもっと発信できる

と思います。また、自分は登山が好きですが、半田山登山道をもっと整備していただくと、もっと多くの人



こおりEXPO・バーガーサミット

てくれるのではないかと考えています。

町長 上町チアーズやピザスタ、メルバのような店ができたことで、地域がさらに元気になってきていると感じています。半田山は国有林でもあるため、伐採などに規制がありますが、可能な限り整備をしていきたいと思っています。

全国に誇れる自慢の桃

阿部 大人になって感じる町の良さは、桃と水がおいしく、自然豊かなところ。町に帰ってきた時に飲む水道水が超おいしくて感動しますし、いい風が吹いているから空気もうまい。自然豊かだからこそ成り立つことだと思います。

佐藤(魁) 私も緑が多く、空気や果物がおいしいところが良さだと思います。実家では桃や柿を作っていますが毎年おいしくできるので、売り



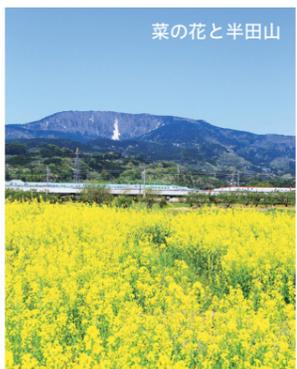
半田山自然公園の桜



高品質な桑折産桃「あかつき」



シラネアオイ



菜の花と半田山



上げが結構出てうれしいです。

石田 桃がおいしいところが良さだと思います。桃は全国どこへでも送ってPRでき、遠方の方にも、桑折町の良さを伝えることができます。

町長 桑折町の桃、とりわけ「あかつき」は、皇室献上品として平成6年に指定を受けて以来、今年で31回目となりました。これまで、「献上桃の郷」という商標を活かしながら、桃のPRに力を入れてきました。今では、農協の直売所に朝早くから桃を買い求める人の長蛇の列ができています。それだけ桑折の桃というブランドが確立されてきたと思っています。さらに磨きをかけていきますので、皆さんもぜひ自慢して、多くの人に紹介してください。

住みたいまち

住み続けたいまちを目指して

河原 町のいいところは、景観の良さです。町外に住んでいる友達が桑折町に来たときに「桑折町ってこんなにきれいなんだ」「こんなにおしゃれなんだ」とびっくりしていました。人を呼び込む機能や施設が充実してきているので、定住してもらえる政策を確立することが必要だと思います。

町長 桑折町に行けば、いつもどこかに何かの花が咲いているという場所を作りたいと思っています。今後、耕作放棄地などが必ず出てくる中で、そのような土地に何かの花が一面に

咲いていれば「桑折に行けば自然を満喫できる」とか「いい風景がある」と言ってもらえます。心温まる、気分が良くなる風景をみんなで作っていきましょう。

佐藤(魁) 町に期待することは、伊達桑折インターチェンジ付近に大型商業施設ができるので、それを契機に町を発展させることで



町長 東日本大震災からの復旧、復興のシンボルとして相馬福島道路が整備され、伊達桑折インターチェンジもできました。周辺では大型商業施設の工事が進んでおり、大きな人の流れが生まれることでしょう。本町にも滞在してもらうために、南の玄関口となる旧伊達郡役所周辺を整備していきたいと思っています。

石田 大学に入って思ったことは、パソコンでタイピングができないと、これからの社会に適用できないなということです。情報系の学習を小学



伊達桑折インターチェンジ

校や中学校からやっていくことが、町の発展にもつながると思います。

町長 GIGAスクール構想として、今は一人一台、タブレットを支給し、小さいときから学習できる環境を整えています。また、英語教育に力を入れ、将来を担う人材をしっかりと育てていこうとしています。



ICT教育の推進

人口減少や少子高齢化の問題、激甚化・頻発化する災害、DXの進展などなど、これからは私たちの想像をはるかに超えるスピードで、世の中が変わっていきます。しかし、みなさんが感じているような、ふるさとの良さであったり、そこに住む町民の気概であったり、変わってはいけないこともあります。そういうものを大事にしながら、みんなで町づくりを進めていきたいと思っています。これからも、いい町を共につくっていくためのお力添えを心からお願い申し上げますと同時に、これからの時代をつくる担い手として期待をしています！